



サマーカーニバル&のぎくサマーフェスタ 夏を満喫

夏の風物詩にもなった、サマーカーニバル(7月26日)とのぎくサマーフェスタ(8月9日)が、今年も盛大に開催されました。サマーカーニバルでは、子ども達のヒップホップダンスや華麗なサンパ隊の演舞などが披露され、夜には約1000発の花火が夏の夜空を彩りました。

のぎくサマーフェスタは、台風の影響でホール内で開催となりましたが、のぎくプラザ吹奏楽団の演奏会や盆踊りが行われ、夏の一夜を楽しんでいました。

SUNムシくんも盆踊りに参加▶



▲盛り上がるサンパ隊



▲珍しい食虫植物を観察



▶ 標本作りを体験

成東・東金食虫植物群落夏休み子ども教室 郷土の文化財に興味津々

7月27日、食虫植物群落管理棟で、夏休み子ども教室が行われました。

参加者は小学2～5年生で、山武市のみならず東金市、旭市、船橋市の県内からと東京都豊島区からも参加してくれました。

学習では、8種類の食虫植物の説明や虫の捕らえ方、現地の実見、湿性植物の観察などを体験。最後に標本作製にトライし、子どもたちは一生懸命に植物の標本作りを体験していました。また、野外観察班では山武市青少年相談員主催の星の村キャンプの一環で夏休み子ども教室が同時並行して行われ、169人の小学5～6年生が参加しました。

初めて食虫植物を見る子どもたちが多く、食虫植物を熱心に観察していました。

鳴浜小学校 韓国半月初等学校との交流 ともに分かち合う深い絆

鳴浜小学校は、平成3年度から韓国安山市内にある半月初等学校と国際交流を続け、お互いの学校を隔年で児童が訪問し、交流を深めています。

24年目となる本年度は、半月初等学校の児童が鳴浜小学校へ訪れる予定でしたが、4月に起きた旅客船セウォル号の沈没事故の影響により、鳴浜小学校への訪問ができなくなりました。そのため鳴浜小学校の学校関係者が山武国際交流協会と共に7月上旬に訪問しました。訪問団は、安山市内にあるセウォル号の事故の献花会場で献花・記帳を行い哀悼の意を表し、半月初等学校へは「深い悲しみをともに分かち合い、明日への希望を願って」鳴浜小学校児童・保護者・職員で折った千羽鶴を贈りました。



▶ 千羽鶴に想いを込めて贈りました

ルバーブ収穫&ジャム作り体験!!



山武市農業共同参画推進会では、遊休農地の利活用としてルバーブの栽培をしており、この度、収穫・ジャム作り体験イベントを開催しました。収穫後のジャム作り体験では、火を入ると溶けるルバーブとそのジャムのおいしさに参加者は感動し、自宅でもルバーブを使った料理に挑戦したいとほりきっていました。(7月10日)

千羽鶴 非核平和事業



山武市では非核平和都市を宣言しているまちとして、市民の皆さんに核兵器の廃絶と恒久平和の大切さを理解してもらうため、毎年啓発事業を行っています。市役所市民ホールに7月22日から8月15日まで展示した後、広島平和記念公園にある「原爆の子の像」へ捧げました。(8月19日)

平和を願う



成東駅に停車中の軍用列車が米軍機が攻撃し、被弾した火薬車両から煙が出たため、14歳の少年少女を含む42人が懸命に消火作業を行ったが、その後大爆発し全員が巻き添えとなった成東駅爆破事件。終戦のわずか2日前のことでした。犠牲者の冥福を祈り、その惨事を風化させないため、献花式が行われました。(8月13日)

山武杉の積み木を作ったよ 心を込めたプレゼント

7月16日、平成26年度山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業として、LLPグループ「木と土の家」による出前講座「山武杉の積み木を作ろう！」が山武北小学校で開催されました。山武北小学校での積み木づくりは今回で2回目。子どもたちは慣れた手つきで紙やすりを使い、約2200個の積み木を磨きました。

全2回の講座で山武北小学校の子どもたちが作った積み木は、東日本大震災で被害を受けた福島県飯館村の子どもたちにプレゼントされる予定です。



▲飯館村の子どもたちを思い浮かべながら



▲講師の指示で踊れるようになると笑顔が

高校生の意見をまちづくりに ダンスってやってみたらオモシロイ

8月号でもお知らせした松尾庁舎跡地に建設を予定している新しい施設は、ダンスを切り口として、さまざまな世代の人たちが交流することで、まちのにぎわいを創出していきたくと考えています。気にはなっているけれど身近でないとあまり体験したり考えない「ダンス」や「まちづくり」。そこで、松尾高校のバスケット部とソフトボール部のメンバー21人に協力してもらい、7月22日にダンスのワークショップを行い、その後新しい施設について意見をもらいました。「ダンス、もっとやってみよう」「朝や部活が終わった時間帯に食べ物を買える場所があるとうれしい」など、率直な意見がたくさんあがりました。

第50回千葉県消防操法大会へ出場 日頃の訓練の成果を発揮

7月26日、千葉県消防操法大会が千葉県消防学校で開催され、県内各地区で優勝した消防団が集い、消防技術を競い合いました。

山武市からは山武郡内の大会で優勝した、第4分団第2部(本須賀岡)がポンプ車操法の部に出場し、努力賞に輝きました。また、個人部門では齊藤猛さんが最優秀指揮者を受賞しました。



◀指先まで神経を集中



左端:最優秀指揮者賞の
齊藤猛さん▶

photo 橋本玲 氏

虫送りが53年ぶりに復活



農作物の害虫を駆除し、その年の豊年を祈願する目的で行われていた、虫送りが松尾町蕪木地区で53年ぶりに復活しました。お菓子の袋を稲わらで包んだ「つつこ」がお土産として子どもたちに配られました。(8月2日)

星の村キャンプ



山武市青少年相談員主催の「星の村キャンプ」が行われました。市内の小学5年生、6年生37組169人が参加し、テント張り、キャンプファイヤーなどを体験しました。(7月26・27日)

社会を明るくする運動



犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生への理解を深め、犯罪のない明るい社会を築くため、保護司会と更生保護女性会を中心に「社会を明るくする運動」広報活動がJR成東駅で行われました。当日は近隣の小中学生によるあいさつ運動も行われました。(7月2日)